

定例会

3月2日～15日

新年度予算総額

93億4200万円

新たな時代に向けて

・ホリデー・サポート・スクールを開設 ・空き家対策推進

平成28年第1回定例会は、3月2日から15日まで14日間の会期で開かれました。

町長から新年度予算の要旨が述べられ、平成28年度一般会計・特別会計予算、平成27年度補正予算を中心に人事案件や条例制定・一部改正など26議案の審議が行われました。

町の主な収入である町税は個人・法人町民税や固定資産税などの減により平成5年以來20億円を下回る19億6898万円（昨年比△5438万円）と見込まれます。スマートインターチェンジ建設など社会資本整備に対する国庫支出金は、臨時福祉給付金の増額により2998万円増の8億8861万円となります。社会資本整備などにかかる借り入れ金は7億4050万円

となっております。

支出の面では、重点事業として、季節型児童クラブを拡大するホリデー・サポート・スクール、定住促進住宅取得助成事業、空き家対策推進事業など人口増加につながる施策を重点に、安全・安心なまちづくりに努める予算となっております。

また、5月以降に工事着工予定となるスマートインターチェンジ工事関係では、3億1137万円の予算となっております。

町の第五次総合計画も2年目を迎え、まち・ひと・しごと創生総合戦略により、限られた財源の効果的活用や事業の推進への取り組みを図ります。

5人の議員が町政をただす

▼認定こども園の設立（転換）における具体策は？

▼中須川河川の整備と清掃について

▼歴史街道（鎌倉街道）の整備について

▼「介護保険制度」の改定による町の対策について

▼定住促進住宅取得助成事業について

▼平成28年度予算と財政改革について

▼スマートインターチェンジ関連について

（一般質問は10頁から掲載しています）

平成28年第1回定例会の様子（写真は3月2日の定例会初日）